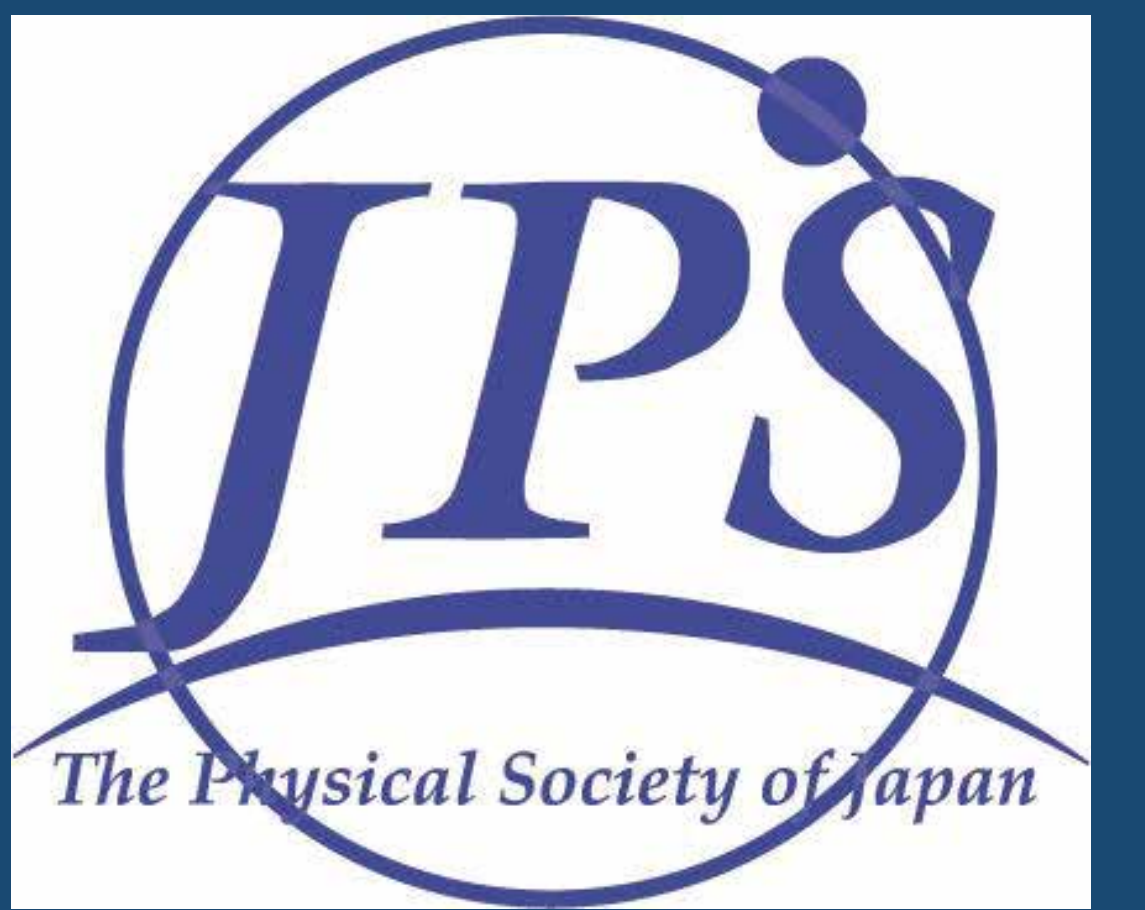
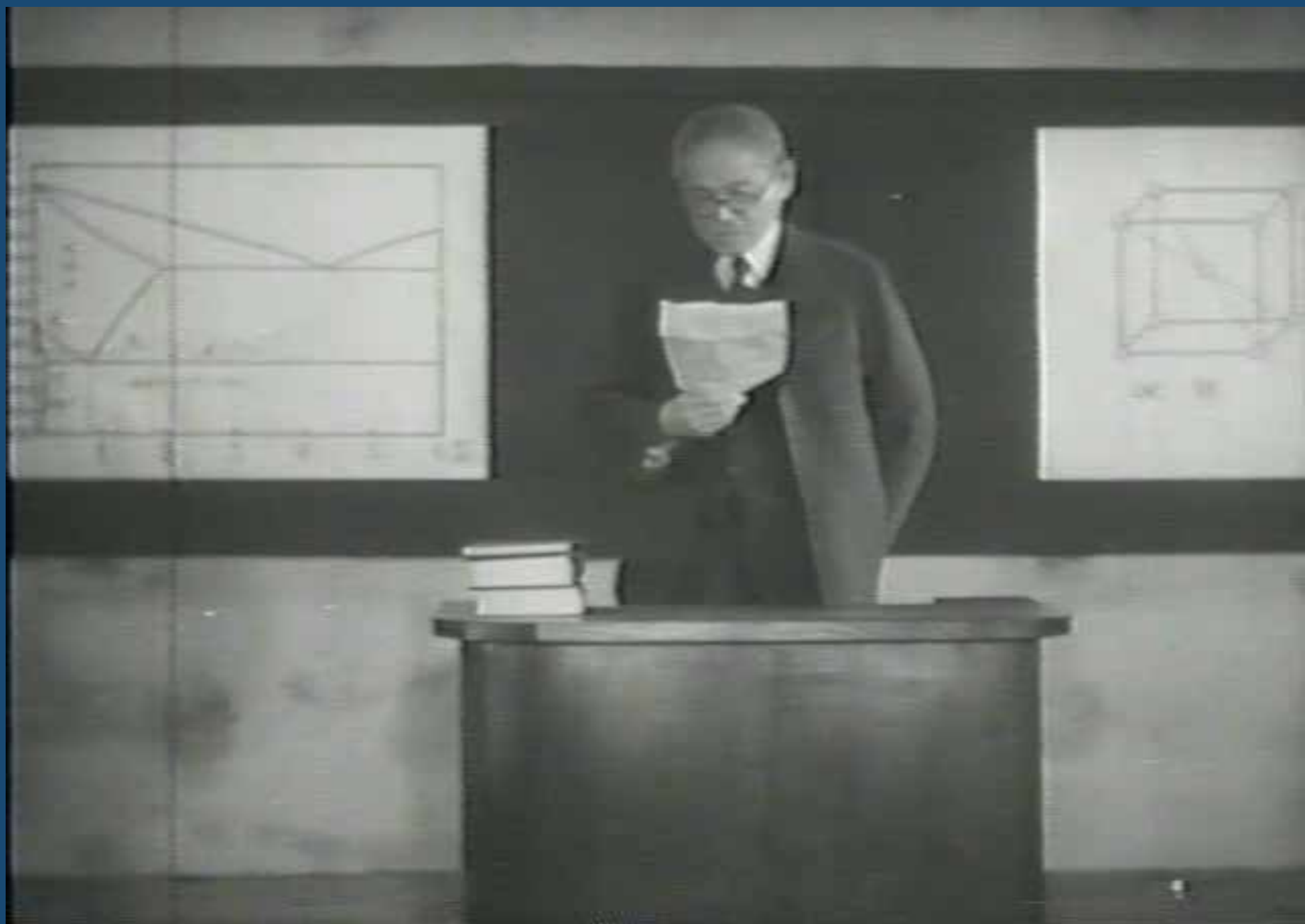


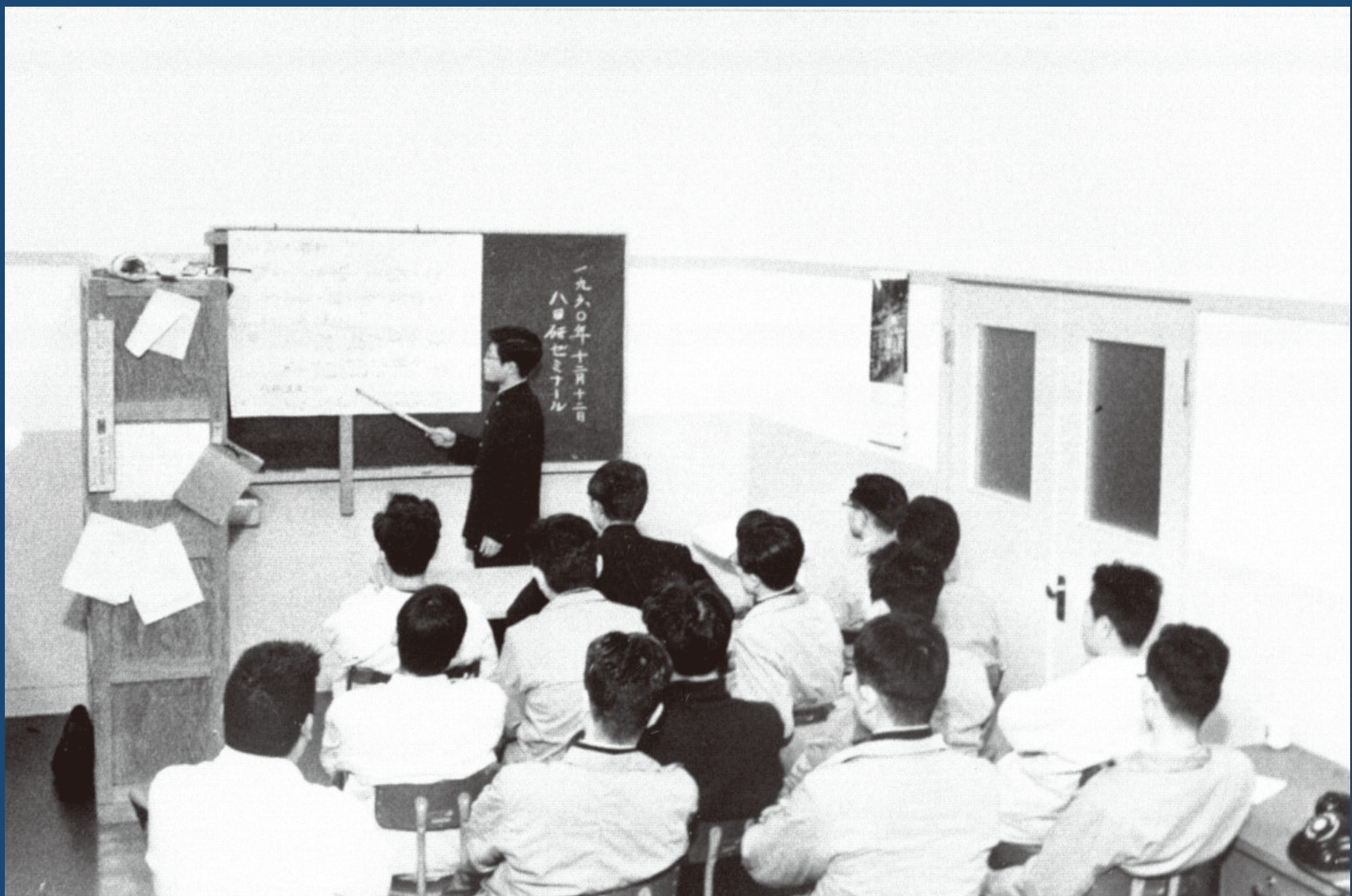
# 物理学会誌に見る講演形式の変遷



## 1950年代以前 ビラによる講演



本多光太郎講義風景(1941年) (東北大学金属材料研究所)



研究室ゼミ風景(1960年頃) (東北大学史料館)

### 1951年

富士フィルムが国産スライド投影機(バーディー1型)を開発・販売。 50年代スライド鑑賞ブームが起こる。

## 1950年代後半ー ビラとスライド(36ミリ“幻燈”板)の併用

### 講演者諸氏への御注意

#### 1. 講演時間、図表、幻燈等について

講演時間は1題目一律に 10 分としました。講演時間終了 3 分前に第 1 鈴を鳴らし、講演時間終了のとき第 2 鈴を鳴らします。第 2 鈴が鳴ったとき直ちに降壇して頂きます。

講演用の図表は、表裏両面共に講演番号、氏名、図表番号を明記して当日午前 9 時までに、午後 1 時までに各会場の図表受付へお渡し下さい。図表の大きさは B 判全紙 (4 頁新聞紙の 2 倍) 以内とします。

幻燈の設備ある会場は C.D.F.G.K.L 会場だけで他の会場では使用出来ません。同会場の講演者中、幻燈使用希望者は 9 月 30 日までに講演番号、題目を示してお申し出下さい。

当方で用意する幻燈の大きさはライカ判 (36 mm×24 mm) だけです。幻燈板調整の際御注意下さい。なお幻燈板には必ず枠をつけて下さい。

#### 2. 追加講演は一切受け付けません。

日本物理学会誌 10巻9号(1955) 第10回年会プログラム

### 1967年 第22回年会で“幻灯”一本化

- 1976年までビラも使用。セルフサービスで。
- 1976年年会からビラの使用が原則禁止。

#### b. 講演用の幻灯について

素粒子論分科を除いて、ビラはやめてすべて幻灯一本とします。ただし、どうしてもビラを使いたい場合はセルフサービスをお願いします。そのためのセロテープまたは画紙は会場側で用意しますがビラ掛の用意はありません。

講演用の幻灯には講演番号、氏名、順序を明記して、講演当日午前 9 時までに、午後 9 時には午後 9 時の部開始時刻までに各会場内の幻灯映写係 (幻灯映写機のおいてあるすぐ脇に係員がおります) 受付へお渡し下さい。なお、講演終了後はその場で使用済の幻灯をお受取り下さい。

幻灯板の大きさ ライカ版 (36 mm×24 mm) だけです。幻灯板調整の際御注意下さい。幻灯板には必ず枠をつけて下さい。幻灯映写の指示の様式は統一されております (講演者には送付済) から厳守して下さい。

日本物理学会誌 22巻2号(1967) 第22回年会プログラム

## 1976年 オーバーヘッドプロジェクター(OHP)登場

- 素核分科でスライドとOHPを使用
- 1978年年会で全会場に
- 1979年から公式使用

### III. 第 34 回 (1979 年) 年会では、全会場でオーバーヘッド・プロジェクターを使用できます

本年会では、全会場でスライド・プロジェクター、オーバーヘッド・プロジェクター(OHP)を使用できます。ただし、OHP 用のトランスベアレンシー (筆記用

の透明紙) は各自ご用意ください。スライドの作り方については、会員名簿 (1977) の 390 ページをご参照ください。

日本物理学会誌 33巻12号 (1978) 会告

### 1988年年会(春)からOHPが主体となる。スライド使用は申請。

#### 14. 35 mm スライドプロジェクターの使用について

本会では、講演発表においては特別の場合を除いて、オーバーヘッドプロジェクターのみを使用する方針です。したがって 35 mm スライドプロジェクターの用意はいたしますが、使用はセルフサービスでお願いいたします。

日本物理学会誌 42巻11号(1987) 会告

## 2003年 液晶プロジェクター(LCP)登場

- 素粒子分科の特別講演、シンポジウムでLCPの使用。
- 2004年物性分科領域7で全講演LCPのテストが行われた。(日本物理学会誌 59巻12号(2004) 908)

#### c. 液晶プロジェクター

- 液晶プロジェクターはシンポジウムおよび特別(招待)講演についてだけ使用可能です。ただしパソコンは各自でご用意ください。

日本物理学会誌 58巻8号(2003) 付録

## 2005年 OHPとLCPを全会場に設置

#### M. 一般講演の液晶プロジェクター使用について

本会は原則として、液晶プロジェクターを一般講演においては用意しないが、今回に限り一般講演でも使用できるように用意する。東京理科大学には、かなりの会場に液晶プロジェクターが設置されており、ご厚意により使用させて頂けることになったため、東京理科大学に設置されていない会場については本会がレンタルして設置する。すなわち、全会場に液晶プロジェクターが設置されることになる。パソコンはご自身でご用意頂き、

日本物理学会誌 59巻11号(2004) 会告

## 2006年以後 LCPが主、OHP・スライドは希望者のみ